

京都府立医科大学附属病院で糖尿病及び肝細胞癌の診断を受けられた患者様・ご家族の皆様
へ

『糖尿病外来における肝細胞癌発生の実態把握』に関する研究へのご協力の お願い

今回、京都府立医科大学は、糖尿病外来における肝細胞癌に関する研究「糖尿病外来における肝細胞癌発生の実態把握」を実施いたします。そのため、過去に京都府立医科大学附属病院で糖尿病及び肝細胞癌の診断を受けられた患者様の診療録を過去にさかのぼって調査させていただきたいと考えています。

研究の目的

本邦においてウイルス肝炎を合併しない肝細胞がん患者は、増加の一途をたどっておりますが、肥満・糖尿病・飲酒が危険因子である事を除いては、どの様な方が肝細胞がんを発症しやすいか分かっておりません。過去に当院内分泌・代謝・糖尿病外来通院歴のある肝細胞がん患者の診療状況を調査することによって、今後糖尿病外来において肝発がん高危険群を囲い込む方法を確立することが本研究の目的です。

研究の方法

本研究は東京大学医学部消化器内科を主任研究施設（統括責任者 消化器内科教授 小池和彦）とし、多施設共同で行われる研究です。

・対象となる患者様について

2008年1月から2015年12月までの間に、京都府立医科大学内分泌・代謝・糖尿病科外来、消化器内科外来で糖尿病及び肝細胞癌の診断を受けられた患者様が対象となります。

・方法について

過去に当院内分泌代謝科外来に5年以上の通院歴があり、肝細胞がんと診断された方を対象に、性別、年齢、身長、体重、肝細胞がんのステージ、糖尿病治療の内容、肝細胞がん診断時と診断5年前の血液データ(血算、生化学、血糖値など)、その後の治療内容と予後を調査します。これらの情報は専用のデータ登録用サーバーからデータの入力が行われ、東京大学医学部消化器内科にて検討されます。

・資料の管理について

情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。情報は東京大学医学部 消化器内科（統括責任者 消化器内科教授 小池和彦）のもとで解析、利用されます。

ご自分、あるいはご家族の情報を本研究に登録したくない場合は、平成29年7月31日までに下記連絡先までご連絡ください。なお上記までに申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

ご希望があれば、個人情報保護及び本研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができます。その場合は、下記連絡先までご連絡をお願いします。

本研究は、京都府立医科大学医学倫理審査委員会において、適切な研究であると承認されています。この研究計画についてご質問がある場合は下記までご連絡ください。

連絡先

京都府立医科大学消化器内科

学内講師 山口寛二

電話：075-251-5519 (消化器内科 医局)